

## 平成21年10月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年6月3日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション  
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年6月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 田中 邦彦  
 (氏名) 南垣内 啓太

TEL 072-368-9401

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第2四半期の業績(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第2四半期	29,878	—	1,454	—	1,581	—	741	—
20年10月期第2四半期	27,447	17.9	1,493	11.1	1,606	12.4	888	23.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第2四半期	7,161.34	—
20年10月期第2四半期	8,584.15	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第2四半期	19,582	12,413	63.4	119,939.40
20年10月期	18,462	11,755	63.7	113,578.06

(参考) 自己資本 21年10月期第2四半期 12,413百万円 20年10月期 11,755百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	0.00	—	800.00	800.00
21年10月期	—	0.00	—	—	—
21年10月期 (予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,227	10.2	3,212	31.5	3,464	34.6	1,642	187.1	15,873.92

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第2四半期 103,499株 20年10月期 103,499株

② 期末自己株式数 21年10月期第2四半期 一株 20年10月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年10月期第2四半期 103,499株 20年10月期第2四半期 103,500株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安による株式市場の低迷、為替相場での急激な円高等の影響を受けて、金融機関や輸出産業を中心とした企業収益が悪化、国内経済は大幅な後退局面に突入し、先行き不透明なまま推移しております。

そのような経済環境の下、外食産業においては、派遣切りなどによる雇用不安やボーナスカットなどによる所得不安を抱える消費者の生活防衛意識の高まりから、ますます外食を手控える傾向が一段と鮮明になってきており、厳しい状況が続いております。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、当社は、安全・安心、安価で美味しいものを求める顧客の消費動向が当社の掲げる経営理念“食の戦前回帰”にマッチするものであり、むしろ追い風であるとの認識で、顧客来店の動機付けを図る様々な取組みを行ってまいりました。産地偽装や不正表示等、食に対する信頼を根底から覆す不祥事が相次ぐ中、平成21年4月には、食の安全・安心を共に考える場として、「日本の食を考える」と題した講演会とパネルディスカッションを開催し、多くの消費者にご参加いただきました。

販売促進面では、平日のお昼限定ではありますが、生活応援価格500円のランチセットを、全国展開に先駆けて関西圏からスタートさせ、お買い得感たっぷりの充実メニューで大変好評をいただいております。また、日頃のご愛顧に感謝し、全てのお客様に「1皿88円(税込92円)」でご提供する“88&人気ブランド寿司フェア”を平成21年2月に実施しました。さらに、時間指定予約のできる携帯電話会員に登録いただいているお客様へ「1皿88円(税込92円)」にてご提供する期間限定キャンペーンを計8回実施いたしました。

店舗開発につきましては、九州地区への本格進出に向けて、大阪・埼玉に次いで3番目となるセントラルキッチン、福岡センターを平成21年3月に新設、稼働させました。これにより、九州第1号店を福岡・大宰府に開店したのをはじめ、鳥取県にも初進出を果たしました。商圈人口、アクセス、近隣状況等出店候補地を厳選しつつ、より広範な地域のお客様に「くら寿司」ブランドをお楽しみいただくため、当第2四半期累計期間に西日本で13店舗、東日本で5店舗の計18店舗を新規出店いたしました。一方で、西日本で1店舗、東日本で7店舗の計8店舗を閉鎖いたしましたため、当第2四半期末の店舗数は、全て直営店で233店舗(「無添蔵」4店を含む)になりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は298億78百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益14億54百万円(同2.6%減)、経常利益15億81百万円(同1.6%減)、四半期純利益は7億41百万円(同16.6%減)となりました。

※文中の前年同期比につきましては、参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産総額は195億82百万円となり、前事業年度末に比べ11億20百万円の増加となりました。これは、主に新規出店や改装等により積極的に設備投資を行った結果、有形固定資産が3億70百万円、投資その他の資産が2億82百万円増加し、また、借入の実施により現金及び預金が3億7百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、71億69百万円となり、前事業年度末に比べ4億61百万円の増加となりました。これは、主に運転資金として一時的に短期借入金の調達を4億30百万円行ったことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により124億13百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが18億79百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが17億59百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが1億87百万円の収入となり、この結果、当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より3億7百万円増加し9億1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は18億79百万円となりました。これは、主に税引前四半期純利益が13億34百万円となり、減価償却費が5億76百万円、店舗閉鎖損失が2億39百万円、仕入債務の増加が1億5百万円あった一方で、法人税等の支払額が4億83百万円等あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は17億59百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が11億44百万円、貸付による支出(建設協力金の支出)が3億60百万円となったことに加え、保証金の差入による支出が90百万円等あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は1億87百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増額が4億30百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が1億61百万円、配当金の支払が81百万円等あったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年10月期の通期業績予想は、売上高622億27百万円、営業利益32億12百万円、経常利益34億64百万円、当期純利益16億42百万円の見通しであり、当初、平成20年12月15日に公表しました通期の業績予想を平成21年6月1日に修正しております。詳細につきましては、平成21年6月1日公表の業績予想の修正に係る適時開示資料をご参照ください。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	901,025	593,618
原材料及び貯蔵品	256,397	243,198
その他	971,250	827,907
流動資産合計	2,128,673	1,664,724
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,368,892	6,657,160
その他(純額)	3,047,598	3,388,467
有形固定資産合計	10,416,491	10,045,628
無形固定資産	111,584	108,570
投資その他の資産		
関係会社株式	97,905	—
長期貸付金	2,846,198	2,629,727
差入保証金	2,869,016	2,819,415
その他	1,112,943	1,194,742
投資その他の資産合計	6,926,063	6,643,885
固定資産合計	17,454,139	16,798,084
資産合計	19,582,812	18,462,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,584,648	2,479,274
短期借入金	430,000	—
1年内返済予定の長期借入金	240,000	281,250
未払金	1,983,811	1,835,009
未払法人税等	518,949	590,226
引当金	110,666	110,666
その他	343,653	379,306
流動負債合計	6,211,730	5,675,733
固定負債		
長期借入金	730,000	850,000
その他	227,474	181,859
固定負債合計	957,474	1,031,859
負債合計	7,169,204	6,707,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	8,073,893	7,415,501
株主資本合計	12,413,608	11,755,215
純資産合計	12,413,608	11,755,215
負債純資産合計	19,582,812	18,462,809

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
売上高	29,878,789
売上原価	14,479,963
売上総利益	15,398,826
販売費及び一般管理費	13,944,172
営業利益	1,454,653
営業外収益	
受取利息	25,933
受取手数料	47,801
為替差益	2,499
物販収入	47,550
雑収入	38,083
営業外収益合計	161,868
営業外費用	
支払利息	10,447
物販原価	20,510
雑損失	3,815
営業外費用合計	34,773
経常利益	1,581,747
特別損失	
固定資産除却損	8,359
店舗閉鎖損失	239,344
特別損失合計	247,703
税引前四半期純利益	1,334,044
法人税、住民税及び事業税	460,000
法人税等調整額	132,853
法人税等合計	592,853
四半期純利益	741,191

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,334,044
減価償却費	576,748
受取利息	△25,933
支払利息	10,447
固定資産除却損	8,359
店舗閉鎖損失	239,344
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,198
仕入債務の増減額(△は減少)	105,374
未払消費税等の増減額(△は減少)	87,519
その他	50,764
小計	2,373,469
利息の受取額	4
利息の支払額	△10,216
法人税等の支払額	△483,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,879,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,144,050
無形固定資産の取得による支出	△17,857
関係会社株式の取得による支出	△97,905
貸付けによる支出	△360,969
差入保証金の差入による支出	△90,591
差入保証金の回収による収入	26,381
その他の支出	△74,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,759,732
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	430,000
長期借入金の返済による支出	△161,250
配当金の支払額	△81,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	307,407
現金及び現金同等物の期首残高	593,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	901,025

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	27,447,861	100.0
II 売上原価	13,419,465	48.9
売上総利益	14,028,396	51.1
III 販売費及び一般管理費	12,534,560	45.7
営業利益	1,493,835	5.4
IV 営業外収益	152,076	0.6
V 営業外費用	39,198	0.1
経常利益	1,606,713	5.9
VI 特別損失	46,916	0.2
税引前中間純利益	1,559,796	5.7
法人税、住民税及び事業税	677,600	
法人税等調整額	△6,264	2.5
中間純利益	888,461	3.2

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前中間純利益	1,559,796
減価償却費	526,576
役員賞与引当金の増減額	△12,000
受取利息	△21,873
支払利息	4,740
固定資産除却損	10,811
減損損失	26,172
店舗閉鎖損失	1,735
たな卸資産の増減額	△109,147
その他流動資産の増減額	△60,869
店舗釣銭用保証金の増加額	△137,140
仕入債務の増加額	207,659
未払消費税等の減少額	△75,091
その他流動負債の増加額	113,146
一括購入資産の増減額	△2,912
その他	138,084
小計	2,169,688
利息の受取額	235
利息の支払額	△4,556
法人税等の支払額	△603,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,561,995
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,523,482
無形固定資産の取得による支出	△7,190
貸付による支出	△417,503
保証金の差入による支出	△248,579
保証金の回収による収入	17,289
その他の投資等の取得による支出	△109,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,288,797

	前中間会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△102,500
配当金の支払額	△82,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,809
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,158
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	△916,770
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	2,005,220
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,088,449